

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>本市最大規模のスポーツイベント「和歌浦ベイマラソンwithジャズ」を、市民のスポーツ意欲向上への核として位置づけて、市民のスポーツ意識向上、親子の触れ合いなどの大切さを実感できるようなイベントとして、毎年、定員12,000人の応募者があります。</p> <p>健康志向の人や、競技目的の人など、色々な人たちが、和歌浦の景色を堪能し、ジャズの音色で楽しく走れるマラソンであり、市民の方々にも定着しており、市の施策として重要かつ高い貢献をしている事業であります。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>毎年、事業を執行する中で、事業費が増加傾向であり、今後は、事業費の抑制に向け、検討していく。</p>